

令和7年 11月 6日 13:30~15:00

場所:障がい福祉サービス事業所いそべ

【 地域連携推進会議 】議事録

■会議の概要説明

資料①

■参加者の紹介

■支援体制の説明

■議題

①利用者の日常生活の様子について 資料②、③を説明(資料公開は控える)

ご意見:加齢に伴い血圧測定などを取り入れてほしい

→取り入れます

各利用者には主治医がいるのか、通院体制はどうなっているのか

→原則支援者が同行支援を行っています

提供している食事内容について

ご意見:どのようなメニュー内容か

→季節に合わせたメニューを用意、土用の丑、栗ご飯、おせち、海産物

誕生会は好きな物を用意する特別メニューとなる

ホーム行事で外食することもある

外出状況は

→個別で外出できる方はされている

単独での外出が困難な方については、移動支援サービスの利用や支援者が個別で同行するなどしています

②地域との連携について

回覧板、町内会長、元町内会長などと地域の情報交換を行っています

③入居者ヒヤリハットの報告 資料③(資料公開は控える)

その他

・事業所内見学

【地域連携推進会議】の概要

社会福祉法人 金沢手をつなぐ親の会
障がい福祉サービス事業所いそべ
共同生活援助（グループホーム）：「いそべ・きずなの家」
令和7年 4月運用開始

●共同生活援助＝グループホームとは

《障害のある方が、支援を受けながら生活する場所です》

【対象者】 当事業所は知的障害者の方々

【サービス内容】 日中：他の障害福祉サービス事業所を利用
夜間：入浴、排せつ、食事等の介助など

【事業所の規模】 定員6名（その他で短期入所サービス1日2名利用）

【なぜ地域連携推進会議が必要になったか】

障害のある方の生活のプライバシーを守る必要がある一方、外部から事業内容が見えにくいという課題が全国的に問題になっています。

問題となる前に、地域の方、家族の方に事業所内を実際に見ていただき、透明性を担保することを目的に、令和7年4月～国の法令より事業所に義務付けとなりました。

■会議の目的

- ・利用者の方と地域の方との関係作りのきっかけ
- ・地域の方人への事業所や当事業所利用者に対する理解の促進
- ・サービスの透明性、質の確保を保ちたい
- ・利用者の方の権利擁護に資する

■会議の内容

- ・構成員での情報共有、意見交換
- ・構成員が事業所を訪問することによる関係作り
- ・事業所の環境や運営内容の確認

■期待される効果

- ・第三者への公開により、結果利用者が質の高い支援を受けられる
- ・事業所としては、地域での運営を理解してもらえる

■会議の構成員

利用者、利用者家族代表、地域の関係者が参画することは必須となっています。

その他として、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、金沢市障害福祉課担当者などが参画することが望ましいとされています。

【当事業における会議構成員】

入居利用者：S 様

Y 様

入居利用者家族：S 様 ご家族様

地域の方：Y 様（沖町磯部町 民生委員）

金沢市障害福祉課：事業者管理係 様（当日欠席）

弊事業所 施設長：高橋 和也

主任：山田 真実

■会議内容・議題

□事業所、サービス内容の透明性

- ・利用者の日常生活の様子について説明
- ・運営状況の説明
- ・BCP（業務継続計画）策定内容の説明 等

□地域と事業所との連携

- ・知的障害とはどんな方か
- ・地域から見た事業所について
- ・災害時、地域防災計画等について 等

□入居者の権利擁護

- ・虐待、事故、ヒヤリハットの報告
- ・支援者の様子 等

□意見交換